

# 市民の暮らし第一に切実な願い実現へ

九月定例市議会では日本共産党議員団は四人全員が一般質問をおこないました。ますます深刻さを増す経済状況のもと、市民の切実な願いを掲げ、建設的な提案をおこないました。

## 新型インフルエンザの対策強化を

て確認しました。市は、電話相談



川口ともこ議員

世界的流行をみせる新型インフルエンザは弱毒性にもかかわらずハイリスク疾患のある人などから死者もでています。川口ともこ議員は、市民の命と健康を守る立場から相談窓口の設置や市民への周知、感染拡大防止策、感染拡大した場合の対策・訓練、重症患者の入院受け入れ体制、医薬品などの確保について

## 子どもたちに豊かな学校給食を

本来無償であるべきもの。負担



かきた有一議員

日本は先進国の中でも教育費の公的支出が少なく家計の負担が重い国です。欧米では国や地方が給食の食材への財政支援を行うのと比べ、日本では食材費は保護者負担。今議会でも給食費の値上げが提案されました。かきた議員は、憲法では義務教育は無償とされ、教育の一環である給食は無償とされ、教育の一環である給食は

## 住宅リフォーム補助の予算増額を



本山修一議員

市民が住宅改修する場合、市が改修費用の5%を補助する住宅リフォーム補助金制度は好評で、年度途中で予算枠を消化し、打ち切られています。本山議員は中小零細業者の仕事確保のため一層の予算の増額を求めました。市は「最大限努力する」と答弁しました。

## 国保税・医療費減免を

みなさん、国保税や医療費が減免されることを知っていますか？「払いたくても払えない」方々へ減免方法、減免基準などの要綱をつくり、市民に公表すべきだと市にただしました。市は「国保税や一部負担金減免基準など市民に公表したい」と答弁しました。

## 時間六〇ミリ降雨の被害想定を



佐藤けいし議員

全国各地で時間五〇ミリ以上の降雨が記録され、水害が発生、多くの人命をふくむ大被害になっています。川越でも十一年前に不老川、新河岸川があふれ大水害になりました。佐藤議員は六〇ミリ以上降雨の時の市内での床上床下浸水被害を想定し、対策をと主張。市は川越でも十分考えられるので検討すると答えました。震度六強の地震がおきた時、市内では全壊が約五千棟、半壊一万八千棟、死者八百八十人、重軽傷者二万二千名と予測されています。対策として、仮設住宅、一人住まいのお年寄り、障害者家庭への援助などの対策を提案、市は住宅用地など検討していきたいと答えました。



# 日本共産党の立党の精神は、国民の苦難を軽減するために力を尽くすことです

## 行財政改革って、市民に次々と負担を押し付けること？

	日本共産党	無所属 川口啓介議員	スピリット 50	市民フォーラム	民主党	自民クラブ	やまぶき同志会	プロジェクト川越 21	公明党	啓政会
市立高校授業料値上げ	×	○	※2	※1	×	○	○	○	○	○
在宅障害者手当削減	×	○	※2	○	○	○	○	○	○	○
学校給食費値上げ (補正予算案)	×	○	※2	○	○	○	○	○	○	○

※1. 高橋剛議員は反対。 ※2. 須賀博議員は欠席のため採決に加わっていません

## 九江市議会の経過

九月二日開会した市議会は、提案された二十九議案のうち、平成二十年度川越市一般会計決算など十一件の決算認定を継続審査、なぐわし公園整備事業用地、平成二十一年度一般会計補正予算など十八議案を可決し、二十五日閉会しました。

三月議会、六月議会に続き今議会でも市民負担を求める議案三件が提案されました。川越市在宅心身障害者支給条例の改定は、六十五歳以上で新たに障害者になった方の手当てを削るもの。市立高校の授業料改定は昨年が続いての値上げ。平成二十一年度一般会計補正予算では学校給食費の値上げを見込んでいます。

日本共産党は、負担増三案に対して反対し、一般会計補正予算に対して、次の通り反対討論を行いました。

【討論要旨】総額約五十億円と大規模だが独自財源はわずかで、三分の二が国からの補助金、三分の一が借金。国の補助は公用車やパソコン購入など大企業・財界向けが多く、市民の暮らしを支える視点ではない。借金は市民生活と照らし計画的に行うものなら単純に否定すべきではないが、国が一方的に使い道を認める手法は国と地方自治体の財政のあり方から見て問題。

学校給食費の値上げが見込まれているが、財政的な支援を行うなど負担軽減策が検討されていない。五十億円という規模にもかかわらず、四千七百万円の負担を市民に押しつけるのは財政運営そのものに対する姿勢のあらわれである。